

# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 1
-----	-----------	-----	-------

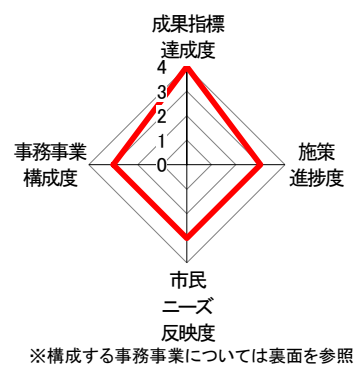
基本事項	施策名	第1節 生涯学習による人づくり・まちづくり	所管部署名	教育部	目標達成度		
	まちづくり目標	第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)	評価責任者	中村 詠子	◎		
	施策小項目	1 生涯学習への支援	施策小項目	5 学習施設の整備充実		関連部署名(1)	教育部生涯学習課
	施策小項目	2 市民参加による事業の推進	施策小項目	6 人材の育成・活用		関連部署名(2)	
	施策小項目	3 学習内容の充実	施策小項目	7 団体の育成・支援		関連部署名(3)	
	施策小項目	4 学習情報の提供				関連部署名(4)	
施策の目的	市民が生涯のあらゆる時期において、学習する機会が得られることをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	公民館等を活用し、主体的に生涯学習に取り組む。			
施策に関する個別計画				市民が利用しやすい生涯学習施設を提供し、各種講座等を開催し、人材の育成に努める。			
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	多くの市民が学習する機会を得られ、生涯学習によるまちづくりを進める。			

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	生涯学習活動に対する満足度	%	52.4	64.9	59.4	◎	70
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施策の 評価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点	◎ 3.25
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		

目標達成(100%以上):◎  
 目標をほぼ達成(80%~99%):○  
 目標を下回る(50%~79%):△  
 目標を大幅に下回る(49%以下):▼

施策評価  
レーダーチャート



評価	施策に関する現状と課題	
	<p>生涯学習情報の提供、社会教育団体への支援及び学習施設の整備充実を図ったことにより、生涯学習活動に対する満足度が上昇した。生涯学習への支援に関しては、市民講師の育成と市民のニーズにあわせて主催事業を見直していく必要がある。学習情報の提供に関しては、広報やチラシだけでなく、市ホームページ等様々な媒体で情報を提供していく必要がある。人材の育成・活用に関しては、人材登録バンクの登録、利用人数が伸び悩んでいるのが課題である。団体育成・支援に関しては、社会教育関係団体の会員数は横ばいであり、活性化を図る必要がある。</p>	

市民が生涯学習活動に参加するきっかけづくりや、多くの市民が生涯学習活動に取り組むことができるように、生涯学習に関する指導者やボランティアなどの人材の育成、発掘と、人材バンクを積極的に活用するなど、生涯学習推進体制の充実を図る。  
学習情報の効果的な提供や、生涯学習施設の利便性の向上を図り生涯学習活動を推進する。

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	803305	社会教育推進事業	1 主催事業満足度	%	96	98	現状のまま継続
2	803105	社会教育推進事業	1 社会教育委員の活動数	%	90	76	現状のまま継続
3	803103	人材育成活用事業	1 人材バンク登録者活用率	%	50	41	現状のまま継続
4	803106	社会教育団体支援事業	1 補助金の割合	%	30	37	現状のまま継続
5	803112	放課後子ども教室事業	1 登録児童の割合	%	40	39	現状のまま継続
6	803110	市民交流センターおあしす等管理事業	1 おあしす利用件数	件	9,000	8,722	現状のまま継続
7	803301	中央公民館管理事業	1 施設利用率	%	45	42	現状のまま継続
8	803302	平沼地区公民館管理事業	1 施設利用率	%	38	33	現状のまま継続
9	803303	東部地区公民館管理事業	1 施設利用率	%	20	16	現状のまま継続
10	803304	美南地区公民館管理事業	1 施設利用率	%	45	44	現状のまま継続
11	803306	公民館運営事業	1 サークル公表団体数	%	53	36	現状のまま継続
12	803401	地区センター施設管理事業	1 施設利用者満足度	%	94	96	現状のまま継続
13	803104	学習情報提供事業	2 全市民に対するまんまるよやく利用割合	%	1	1	現状のまま継続
14	803113	市民交流センターおあしす改修事業	1 おあしす利用件数	件	9,000	8,722	現状のまま継続

**平成29年度、平成30年度の主な取組実績**

【生涯学習への支援】  
人材バンクを設置し、その周知及び生涯学習機会の提供を目的として、人材バンク1日体験講座を実施した。

【学習情報の提供】  
生涯学習メニューブックを公共施設等に設置するとともに、広報やホームページ等の媒体を活用し生涯学習情報の提供に努めた。今後も様々な媒体を活用して生涯学習情報を提供していく。

【社会教育団体の支援】  
社会教育団体(PTA連合会、文化連盟)に対して補助金を交付し支援した。今後も、社会教育委員会の意見を聞きながら、社会教育団体の活動を支援していく。

【学習施設の整備充実】  
中央公民館ホールの時計、舞台床の修繕を行ったほか、指定管理者と協議し備品の更新等利用者の利便性向上を図った。今後も学習施設の整備充実を図っていく。

# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 2
-----	-----------	-----	-------

<b>基 本 事 項</b>	<b>施策名</b>	第2節 豊かな人間性を培う学校教育の充実	所管部署名	教育部	目標達成度
	まちづくり目標	第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)	評価責任者	中村 詠子	
	施策小項目	1 確かな学力の向上	施策小項目	5 進学機会の確保	
	施策小項目	2 教員の指導力の充実	施策小項目	6 地域と歩む学校	
	施策小項目	3 健やかな心と身体の成長	施策小項目		
	施策小項目	4 学校施設と教育環境の整備	施策小項目		
施策の目的	・「家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きてゆく」ことができる吉川の児童生徒を育成するために、教職員の資質の向上、学校施設の整備、学校給食の充実、家庭・地域との連携をめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	学校を核として、家庭と地域が一体となり、豊かな心、学力、体力の向上に努め、生きる力を養うことに努める。	
施策に関する個別計画				児童・生徒の学力、豊かな心、体力の向上のために、教職員が教育課程や生徒指導等の実践力の向上に資するため教職員の研修の充実を図る。	
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	市内小中学校の全教職員及び全児童・生徒	意図 (対象をどのようにしたいのか)	教職員の研修の充実を図り、自ら考え、判断し行動できる児童生徒を育成する。	

No.	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
<b>指 標</b>	① 全国学力・学習状況調査における算数Aの正答率(小学生)、数学Aの平均正答率(中学生)	%	小学 75.3 中学 55.5	小学 65.0 中学 56.0	小学 77.3 中学 59.5	▼	小学79.3 中学63.5
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30	R3	
	② 「将来の夢や目標を持っていますか」の項目の、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と考える児童の割合(小学生)	%	86.6	84.3	88.8	▼	92
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30	R3	

<b>施 策 の 評 価</b>	<b>施策の進捗状況</b> <input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 <div style="font-size: 2em; text-align: center;">▼</div> <div style="font-size: 2em; text-align: center;">2.5</div>	<p style="text-align: center;">市民 ニーズ 反映度</p> <p style="text-align: center;">※構成する事務事業については裏面を参照</p>
	<b>市民ニーズの反映度</b> <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	<b>施策に対する事務事業の構成</b> <input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		
<b>施策に関する現状と課題</b>			
指標1の結果は、達成状況が低いものの、全国平均正答率と吉川市の差では変化があり、平成27年度では小学校で-4ポイント、中学校で-2.6ポイントだったものが、平成31年度では小学校で-1.6ポイント、中学校で-3.8ポイントになっている。全国学力・学習状況調査では、国語も実施しているが、平成31年度における全国平均正答率と吉川市の差は、小学校で+0.2ポイント、中学校で-0.8ポイントと、平成27年度からの変容が見られている。 指標2の結果も、達成状況が低いものの、全国平均は83.8で本市の方が1.1ポイント上回っており、今後、吉川市教育大綱を受けた志教育の充実を図ることで指標を達成することが期待できる。 今後ともこの指標を踏まえて、子供たち一人一人の夢や希望が実現できる学校づくりを進めていくことで、市民満足度の向上を図っていきたい。			

今後の展開	<p>平成29年度に策定された吉川市教育大綱「家族を 郷土を愛し 志を立て 凛として生きてゆく」ことができる児童生徒の育成を目指していく。このため学力向上、体力向上、非認知能力の育成を柱として指標を達成していく。特に、学力向上では、全国学力・学習状況調査結果を分析し、授業改善を図ることを主とするが、各事業の充実を図る。</p> <p>また、今後は、小中学校9年間の学びをつなぐ視点を全教職員がもてるよう、小中連携・一貫した教育の充実を図っていく。これにより、志教育の充実を図ることができ、本市の児童生徒が本市の学校に通ってよかったという実感にもつなげていきたい。</p>						
-------	--	--	--	--	--	--	--

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	802103	少人数指導推進事業	1 少人数指導員一人当たりの勤務日数	日	200	194	現状のまま継続
2	802102	特別支援教育充実事業	1 特別支援員一人当たりの平均勤務日数	日	192	189	手段を改善
3	802202	特色ある教育推進事業	1 活動小中学校(特色ある)	校	11	11	現状のまま継続
4	802101	教育研究会支援事業	1 研修会・作品展・発表会の開催	回	50	53	現状のまま継続
5	802204	教育内容研究事業	1 事業成果発表学校数	校	4	4	現状のまま継続
6	802201	教育指導負担事業	1 指導主事会研修会への参加状況	回	2	2	現状のまま継続
7	802209	教育研究負担事業	1 研修会等への参加人数	人	27	27	現状のまま継続
8	802104	学校図書充実事業	1 学校図書館司書平均勤務日数	日	111	110	現状のまま継続
9	802206	外国語教育推進事業	1 語学指導者勤務総日数	日	840	975	現状のまま継続
10	802203	教育内容充実事業	1 中学校運動部外部指導者平均活動日数	日	30	30	現状のまま継続

主 な 取 組	平成29年度、平成30年度の主な取組実績						
	<p>小学校において、県費で教科指導の充実のための加配教員が1名のみ配置校に、市独自で少人数指導教員を配置している。主に算教科において学級の児童を複数のグループに分けて少人数による学習を実施している。児童一人一人にきめ細やかな支援を重ねることで、基礎的・基本的な学習内容の定着につなげているととらえている。</p>						

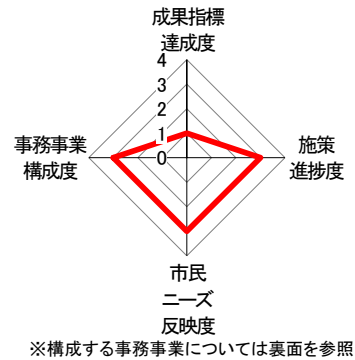
# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 3
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第3節 青少年健全育成の充実	所管部署名	教育部	目標達成度	
	まちづくり目標	第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)	評価責任者	中村 詠子	▼	
	施策小項目	1 健全育成活動の充実	関連部署名(1)	教育部学校教育課		
	施策小項目	2 教育相談活動の充実	関連部署名(2)			
	施策小項目	3 非行防止活動の充実	関連部署名(3)			
施策小項目	4 いじめや不登校の早期対応・解消	関連部署名(4)				
施策の目的	次の世代を担う青少年が心身ともに健やかに成長し、自立した心豊かな社会人となることをめざす		市民の役割 市民と行政の役割	地域ぐるみの健全育成やPTAによる地域の青少年の健全な育成活動を行っていく。		
施策に関する個別計画				青少年健全育成の啓発活動及び補導委員による昼夜の見回りと声かけを実施する。また、少年センター及び、各小中学校に相談員を配置し、青少年の健全育成を推進する。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	啓発活動等を通じ、地域の大人と子どもが互いに心を開き、人間関係が深まる。また、教育上の悩みを相談し解決・改善することで、青少年が健やかに成長する。		

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値	目標値	達成状況	最終目標値
	指標の性質(下段)		(年度)	(年度)	(目標年度)		(目標年度)
①	市内不登校児童生徒率	%	小学 0.35 中学 2.23	小学 0.36 中学 4.10	小学 0.3 中学 2.1	▼	小学0.2 中学2.0
	減少することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	「規律ある態度」⑤あいさつの項目において達成率80%以上の学年数(県学力・学習調査)	学年	5	4	7	▼	9
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ▼ 2.5
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	



施策評価  
レーダーチャート

施策に関する現状と課題	不登校児童生徒は、年々増加傾向にある。不登校の理由も様々であり、個に応じた対応ができるスキルが必要である。青少年の健全育成のひとつである「あいさつ」については、啓発活動や補導委員による声かけ活動を計画的に実施した。
-------------	---

今後の展開	<p>教育相談活動の充実:少年センター及び各小中学校へ相談員を配置し、学校相談員連絡協議会や小中学校教育相談主任研究協議会を開催するなど、相談担当者のスキルアップを図る。</p> <p>健全育成活動の充実:家庭の日の広報活動、非行防止キャンペーン、祭礼などの特別補導活動を実施する。学校でのあいさつの指導を啓発する。</p> <p>非行防止活動の充実:補導委員が毎月市内を巡回し、学校周辺、公園などで見回りや声かけを実施する。</p>
-------	---

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	802301	教育相談事業	1 少年センター職員の受けた相談の解決改善率	%	70	94	現状のまま継続
2	802302	適応指導教室事業	1 適応指導教室児童生徒の学校復帰率	%	45	14	現状のまま継続
3	802303	健全育成活動事業	1 青少年育成推進員の活動参加率	%	50	40	現状のまま継続
4	802304	非行防止活動事業	1 補導員による声かけ件数	件	200	46	手段を改善
5	802305	学校相談事業	1 相談員の解決改善率	%	80	81	現状のまま継続
6	802308	生徒指導事業	1 市内小中学校問題行動等件数	件	300	399	現状のまま継続

主な取組	平成29年度、平成30年度の主な取組実績
	<p>・不登校児童生徒のうち、適応指導教室に通室した児童生徒:平成29年度71人中15人(通室率21.1%)、平成30年度103人中7人(通室率6.8%)</p> <p>・身近な相談員の活動状況(あおぞら相談員(小学校)、さわやか相談員(中学校)、教育相談員の合計12人) 相談件数:平成29年度 小学生123人、中学生131人 平成30年度:小学生131人、中学生172人</p> <p>・補導活動におけるあいさつ運動の実施 平成29年度:8回、平成30年度:12回</p> <p>・青少年育成推進員による「家庭の日」啓発広報活動 平成29年度:5回、平成30年度:4回</p>

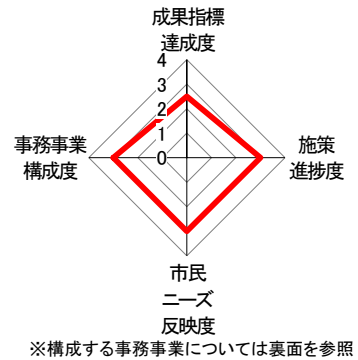
# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 4
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第4節 幼児教育の充実	所管部署名	こども福祉部	目標達成度
	まちづくり目標	第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)	評価責任者	伴 茂樹	△
	施策小項目	1 幼児教育の支援	関連部署名(1)	こども福祉部保育幼稚園課	
	施策小項目	2 保育所・幼稚園・小学校の連携	関連部署名(2)	教育部学校教育課	
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	・小学校就学前の子どもたちが生活や学習の基礎を身に付けられることをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	健全な幼児の育成に努める。
	施策に関する個別計画	吉川市子ども・子育て支援事業計画(平成27年度～31年度)			保護者の不安や経済的負担を軽減するための支援を行う。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	幼稚園の就園にかかる保護者負担が軽減されている。 保育所・幼稚園・小学校の連携による一貫性のある教育が行われている。	

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	30日以上(累計)欠席(傷病を除く)をした小学校1年生の人数	人	1	0	0	◎	0
	減少することが良いとされる指標						
②	年度当初において3歳以上の未就学児に対する幼稚園へ入園している児童の割合	%	66.49	60.73	67.75	▼	69
	増加することが良いとされる指標						

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点	△	2.88
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった			
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった			
施策に関する現状と課題 吉川市保幼小連絡協議会を開催し、保育所・幼稚園・小学校等が、学習参観や情報交換を主とする連携を図ることで、未就学児がスムーズに小学校生活を送れるように進めてきている。 子どもを幼稚園に就園させる保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園就園奨励費補助金を交付しているが、保育ニーズの高まりなどから、幼稚園利用者は減少傾向にある。					



今後の展開

幼児教育事業(保幼小連絡協議会)については、未就学児のスムーズな小学校就学につなげるため、引き続き、保育所・幼稚園・小学校で連携を図っていく必要がある。併せて、吉川市教育大綱を受け、非認知能力の育成という視点で、連携できる部分を充実していく必要がある。

幼稚園就園補助事業は、令和元年10月の幼児教育・保育無償化制度の開始にあわせて廃止されることから、幼稚園を利用する保護者の経済的負担の軽減については、無償化制度において負担軽減を図っていく。

幼児教育支援事業については、幼児教育の充実を図るため、引き続き、補助金を交付していく必要がある。

貢献順位	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	304111	幼稚園就園補助事業	1 補助交付率	%	70	62	現状のまま継続
2	304112	幼児教育支援事業	1 補助に対する事業費率	%	234	203	現状のまま継続
3	802205	幼児教育事業(保幼小連絡協議会)	1 情報交換等	回	2	2	現状のまま継続
4	304110	一時預かり事業(幼稚園型)	1 一時預かり事業補助金交付額	千円	375	373	現状のまま継続

平成29年度、平成30年度の主な取組実績

幼児教育事業(保幼小連絡協議会)については、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭の相互体験研修や情報交換等を実施し、保育所・幼稚園・小学校の連携強化を図った。

幼稚園就園補助事業については、国において補助単価の引き上げが実施されたことから、本市においても国の基準に合わせて改正を行った。

主な取組



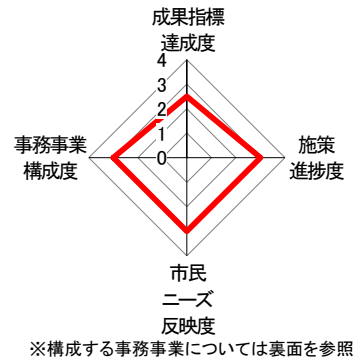
# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 5
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 家庭・地域・学校の連携	所管部署名	教育部	目標達成度	
	まちづくり目標	第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)	評価責任者	中村 詠子	△	
	施策小項目	1 家庭教育学級の充実	関連部署名(1)	教育部生涯学習課		
	施策小項目	2 保護者への支援	関連部署名(2)			
	施策小項目	3 地域の教育力の活用	関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の中で、子どもが社会で生活する力が身につくことをめざす。</li> <li>子育て家庭を地域で支えることをめざす。</li> </ul>		市民の役割 市民と行政の役割	子どもに生きる力を身に付けさせることに努める。		
施策に関する個別計画				家庭・地域・学校を繋げ、地域で子どもを育てる環境を作る。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	児童・生徒・全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	家庭教育学級や講座の充実により、子どもが社会性を身につける。		

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値	目標値	達成状況	最終目標値
	指標の性質 (下段)		(年度)	(年度)	(目標年度)		(目標年度)
①	家庭教育学級への参加率	%	未就学 38.4 小中学校 32.5	未就学 46.6 小中学校 31.1	未就学 44.2 小中学校 41.3	◎	未就学50 小中学校50
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	地域寺子屋事業の実施団体数	団体	6	6	7.5	▼	9
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点	△	2.88
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった			
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった			



施策評価  
レーダーチャート

施策に関する現状と課題	目標指標である家庭教育学級への参加率は、目標値を達成できなかった。 ・家庭教育に関して自覚に欠ける保護者が見受けられ、参加してほしい保護者ほど無関心という傾向がある。 ・家庭教育学級の内容が前例踏襲となる傾向が強く、内容も家庭教育学級に適しているとはいいがたいものがある。
-------------	--

今後  
の  
展  
開

多様化する子育て環境や子ども達の生活実態を踏まえて、地域・家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育学級、子どもの体験活動及び地域寺子屋事業等を支援していく。また、事業をとおして、家庭教育アドバイザーとなるような人材の発掘にも努めていく。

	貢献 順位	事務事業 番号	事 務 事 業 名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値		
構 成 す る 事 務 事 業	1	803101	家庭教育推進事業	1 家庭教育学級実施率	%	65	56	現状のまま継続	

主  
な  
取  
組

平成29年度、平成30年度の主な取組実績

【家庭教育推進事業】  
 保育所、幼稚園、小中学校の保護者を対象に、家庭教育学級交付金をPTA又は保護者会等へ交付し、家庭教育学級の実施を支援した。  
 今後は、県の研修を受けて「親の学習」の指導者となる「家庭教育アドバイザー」を活用して、PTAや保護者会を支援するとともに、家庭教育学級の推進を図った。

【子どもの体験活動事業】  
 様々な体験を通して「生きる力を育み、家庭・学校・地域社会が一体となって「地域で子どもを育てよう」という機運を醸成し、子ども達の体験事業・奉仕活動等を推進する。  
 今後は、実行委員会委員となる人材発掘に努め、事業が継続できるように支援を行う。

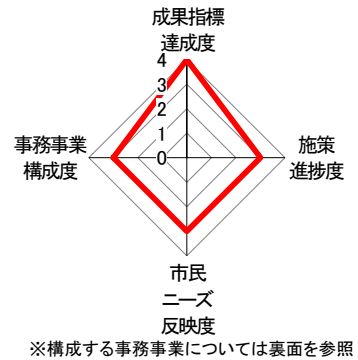
# 令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	5 - 6
-----	-----------	-----	-------

基本事項	施策名	第6節	多彩で個性ある文化の創造と伝承		所管部署名	教育部	目標達成度		
	まちづくり目標	第5章	生きがい・学び・伸びゆくまちづくり(教育文化部門)		評価責任者	中村 詠子	◎		
	施策小項目	1	文化財の保護・保存	施策小項目	5	施設の整備充実		関連部署名(1)	教育部生涯学習課
	施策小項目	2	歴史資料の収集・調査・保存活用	施策小項目				関連部署名(2)	
	施策小項目	3	文化財愛護活動の推進	施策小項目				関連部署名(3)	
施策小項目	4	芸術文化活動への支援	施策小項目			関連部署名(4)			
事項	施策の目的	市民の自主的な文化・芸術活動を通して地域に根ざした文化の振興と、郷土の歴史や文化が広く伝承されることをめざす。				市民の役割 市民と行政の役割	芸術文化や郷土の歴史・文化財に対する関心を深め、郷土愛を育むことに努める。		
	施策に関する個別計画						芸術文化活動に触れ合える機会を提供するとともに、市史の発行や文化財を指定し後世に継承する。		
項目	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	市民・歴史的文化的に価値のある文化財、歴史資料		意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民が文化財を後世に継承する重要性を認識する。市民が芸術文化に触れ合える。			

指標	No.	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
		指標の性質 (下段)							
1		芸術文化に触れ合う機会の満足度		%	37.6	54.5	42.6	◎	50
		増加することが良いとされる指標			H28	H30	H30		R3
指標									

施策の評価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	◎	施策の評価平均点	3.25
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼			
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     施策評価 レーダーチャート                 </div>			
施策に関する現状と課題 彩の国さいたま芸術劇場と連携した演劇事業、「文藝よしかわ」の刊行、及び一流の音楽に触れる機会を創出する等の事業を実施するとともに、市民の文化芸術活動の発表の場である中央公民館やおあしす等の施設の充実を図ることにより、「文化芸術に触れ合う機会の満足度」が向上した。 引き続き、市民の文化芸術活動の発表の場の確保や文化連盟をはじめとする団体の育成や活性化を図るため、文化芸術活動への支援を推進する必要がある。						



今後  
の  
展  
開

今後も市民の文化芸術活動の発表の場の確保や文化連盟をはじめとする団体の育成や活性化を図るため、文化芸術活動を支援するとともに、彩の国さいたま芸術劇場等と連携して、文化芸術振興を図る。

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	803108	文化芸術振興事業	1 全市民に対する市民文化祭入場者の割合	%	4	6	現状のまま継続
2	803111	文化芸術振興事業	1 演劇公演の満足度	%	85	95	拡大
3	803201	文化財保護事業	2 指定文化財の総数	件	42	41	現状のまま継続
4	803204	市史編さん事業	1 市史・市史関係刊行物の刊行	冊	1	1	現状のまま継続
5	803205	史料保存活用事業	1 収集した歴史資料の数量	点	150	279	現状のまま継続
6	803202	文化財愛護活動支援事業	1 講座、見学会の延べ参加者数	人	130	115	現状のまま継続
7	803203	郷土資料館管理事業	1 来館者数	人	500	375	現状のまま継続

主  
な  
取  
組

平成29年度、平成30年度の主な取組実績

【文化芸術振興事業】  
彩の国さいたま芸術劇場と連携した演劇事業、「文藝よしかわ」の刊行、及び一流の音楽に触れる機会を創出するコンサート等の事業を実施するとともに、市民の文化芸術の発表の場である中央公民館やおあしす等の施設の充実を図ることにより、「文化芸術に触れあう機会の満足度」が向上した。

【文化財保護事業】  
市文化財指定候補の調査を行うとともに、文化財巡りを実施し、文化財保護の必要性・重要性を周知した。

【市史編さん事業】  
市史編さん事業で収集した資料の整理・保存・活用を図り、「大沢雄一物語」「宮崎吉之助物語」の吉川市出身の偉人の功績を作成し、市民の郷土に対する愛着と関心を深める事業に取り組んだ。